



モノとココロを考える、  
フェアトレードのための  
フリーペーパー！

フェアトレードタウンなごや

# Fair Trade Town Nagoya

FAIR TRADE FREE PAPER [SOU]

FTNNがつなぐフェアトレードの環  
(タウン認定後1年の活動報告)

**2015年、名古屋市がフェアトレードタウンに認定されました。  
市民の小さな草の根の活動から始まった運動が、名古屋市を動かしました。**

2015年3月、名古屋市議会で「フェアトレードを支持する議決」が全会一致で採択。それをうけ、5月の世界フェアトレードデーのステージにて、河村たかし名古屋市長が支持表明。これで6つ全てのタウン認定基準をクリア。9月、名古屋市主催「環境デーなごや」にて、(一社)日本フェアトレード・フォーラムFTFJからフェアトレードタウン認定証が授与。市長とFTNN代表とで「フェアトレードタウンなごや宣言」に調印。名古屋でタウン運動が始まってから6年がたっていました。そんなの無理でしょと言っていた人たちをも仲間にも、みんなで走った6年間。1つの目標を達成し「フェアトレードタウンなごや」となり新たなスタート地点に立ちました。あれから1年、名古屋では市民団体、民間企業、行政の協働のもと、様々な取り組みが始まっています。



2015年9月名古屋市はフェアトレードタウンに認定され、祝賀に包まれました。

## 第7回 世界フェアトレード・デー・なごや2016 フェアトレード・コーヒー・サミット in Nagoya!!

～世界とつながるおいしいコーヒーから、やさしい未来をかたろう～



2016.5.7

5月はフェアトレード推進月間であり、5月の第2土曜日は「世界フェアトレード・デー」、世界中でフェアトレード・イベントを開催しようという日。名古屋ではもう7年も続く恒例のフェアトレードの祭典です。第7回は「フェアトレード・コーヒー・サミット」と題して、コーヒーを飲んで、フェアトレードを考える日とし、テレビ塔下には、全国各地からフェアトレード・コーヒー店・企業など20店舗が出店。コーヒーを淹れ、おいしさを語ってくれました!



私たちが毎日おいしくいただいている“コーヒー”から世界を想像してみましょう。生産地の多くは開発途上国とされる国々にあり、多くを消費しているのが先進国の人々です。丸い地球の様々な場所をつないでいる「コーヒー豆」。いったいその豆は、フェアな方法で日本までやってきているのでしょうか。私たちがおいしくて癒されるだけでなく、生産地も一緒に幸せに。生産者と消費者、ともによい物語を知れば、もっとコーヒーが好きになり、もっと世界がハッピーに!!

名古屋は、喫茶文化の街だから、「コーヒー」囲んで、香り漂うイベントで、もっと名古屋が好きになる!そんな1日にしたいとフェアトレード・コーヒー・サミットが生まれました!

参加者は、コーヒー飲み比べの参加費1000円を払うと、オリジナルカップが手渡され、コーヒー20種類を好きなだけ楽しめるという企画。用意した瀬戸焼のマグカップは完売し、多くの参加者がフェアトレード・コーヒーを満喫しました。



フェアトレード・マルシェでは、国内外・地域内のフェアトレード商品を扱う約70店舗の出店者で賑いました。人・環境・社会に優しいフェアトレード・オーガニック・自然天然・伝統・手仕事・地産地消の温もりあふれる品々で、来場者を笑顔にしました!



「名古屋の人は、甘辛い濃い味の料理を食べているから、それに負けない強い味のコーヒーが好まれるのでは」と名古屋在住のフリーライター大竹敏之さん

美味しいコーヒー豆の生産国であるタンザニアから、フェアトレードタウン誕生を祝って、バカラさんから、名古屋の街を描いたタンザニア絵画ティンガティンガが寄贈されました。



ステージでは、フェアトレード・コーヒーに携わるゲストが登場。コーヒー豆の美味しい物語は、消費者と生産地をつなげ、世界を旅するようなサミットとなった。



# 第1回「秋のフェアトレードタウンまつり in Nagoya TV TOWER」



17年続く名古屋市環境イベント「環境デーなごや」。  
毎年多くの来場者で賑わうこのイベントに、  
フェアトレードエリアが誕生しました！

2015年秋「環境デーなごや」のステージにて、名古屋市は『フェアトレードタウン』に認定されました。あれから1年、タウンとなった2016年の「環境デーなごや～一人ひとりのECOが未来を変える～」では、会場を名古屋テレビ塔下まで広げて、『秋のフェアトレードタウンまつり』を開催！



河村たかし名古屋市長、大澤和宏社長(名古屋テレビ塔株式会社)、名古屋市議会のふじた和秀議員、ばばのりこ議員、うかい春美議員、FTNN代表がフェアトレードタウン名古屋誕生1周年の想いと今後について熱く語りました。

## ● みんなでやろみゃあ！フェアトレード！

河村たかし名古屋市長もフェアトレード・ファッションでステージに登壇！

今年春、NPO法人フェアトレード名古屋ネットワーク (FTNN) の働きかけで、繊維の輸入などを手がける(株)興和が、インドの農園で有機栽培されたオーガニックコットンの生地を名古屋市立桜台高校のファッション文化科に役立ててもらおうと贈呈。ブラウス作りの授業では、FTNN代表と(株)興和の稲垣さんと原井さんからフェアトレードの理念や生産現場について講義を受け、途上国の農園で幼い子ども達が働いている現状や、化学薬品を使用している生産地では働く人の健康を脅かしていることなど学びました。生徒たちは、生地を大事に受け取り、それから3ヶ月で市長のワイシャツと自らの身を包む白いブラウスを個性あふれる見事な作品に仕上げました。



市長のワイシャツには、襟やポケットにアフリカの伝統的な生地が使用され、遊び心と多文化共生の思いが込められています。市長も満面の笑みでランウェイを歩き、「着心地が良い」とご機嫌です！

## ● フェアトレード&エシカル・ファッションショー ethical penelope

プロのモデルがランウェイを歩く姿が、多くの来場者を魅了する人気のファッションショーに、名古屋市立桜台高校の生徒も参加！自らデザイン・製作した白いブラウスをエシカルにコーディネートして、モデルとしてショーに登壇！ファッションショーの舞台裏では、名古屋市立千種高校の生徒が、フィッター(モデルの早着替えを補助)となり、ショーを縁の下で支えているプロの現場を体験しました。



フェアトレードの素材は、作るのも着るのも気分が良いです。

普段よりも生地を丁寧に扱いました。

ファッションショーはとても楽しかったです。

桜台高校のみなさん。可愛かったよ～！

## ● みんなのフェアトレード・ファッションショー 椋山女学園大学&名古屋三越

「身近なところからフェアトレードを考えて、参加する、みんなで作り上げるファッションショー」。人・社会・環境に優しいエシカルなファッションの視点からフェアトレードを考えるステージとなりました。名古屋三越からは、松下本部長や栄店の貴志店長をはじめ、フェアトレードやオーガニック、自然を守り社会に貢献するグローバル・グリーン商品を身に付けた各店舗のスタッフが、モデルとなって登場。椋山女学園大学でデザインを学ぶ学生たちは、名古屋三越の社員から古くなったスーツやネクタイを集めてほどこき、3R(リサイクル・リデュース・リユース)の理念で、エレガントなドレスにアップサイクル！その他、祖母・母の古着を、娘が受け継ぎ、かっこよく着こなす3世代コーディネートなど、様々なエシカル・ファッションが披露され、椋山女学園大学の森棟学長もランウェイをウォーキング！未来を変えるおしなれを皆で挑戦しました。



## ● 高校生フェアトレード・ステージ

日頃からフェアトレード活動を熱心に行っている高校生による活動発表。愛知県立愛知商業高校ユネスコクラブ、愛知県立南陽高校Nanyo Company部、名古屋市立名東高校の生徒たちが、フェアトレード活動の経験を活かして、一生懸命に発表しました。



## ● 大学生「フェアトレードはじめてクイズ」

FTNN学生チームが企画&進行。フェアトレードを知っている人にも知らない人にも、ためになるクイズを出題。名古屋よしもとアンダーポイントさんとの掛け合いで、楽しくフェアトレードが学べるステージとなりました。



# 第7回 エシカル・デー・なごや2016

## 白鳥庭園の名古屋まつり“エシカルでいしましょ!”

生物多様性条約COP10開催6周年記念イベント

～地球上の多様な命のつながりを大切に、環境・人・社会に優しく美しく～

2016.10.16



2010年に行われた、COP10(生物多様性条約第10回締約国会議)をきっかけに始まったエシカル・デー・イベント「エシカルでいしましょ!」は、毎年10月名古屋まつりの日に開催し今年で7回目。COP10の開催により、私たちは地球規模での多様な命のつながりを学び、地域と世界の問題が関連していることに気づきました。美しく健やかな地球を次世代へ受け継げるよう、“エシカル Ethical(思いやり)”の理念で、今の私たちにできることからやってみましょう!と名古屋発信のエシカル・デーがはじまりました。



社会や環境に優しく、関わる人みんなが喜び、自然も人も、地球上全ての命がハッピーであるよう、思いやる“エシカル”な活動を応援するイベント!

2016年のエシカル・デーは、天高く澄み渡る秋晴れに恵まれて、4300名という最高来場者でにぎわい、丁寧に手入れされた白鳥庭園で、笑顔いっぱいのお気持ちの良い1日となりました。

### エシカルとは“思いやり”

地球・自然・環境との調和・融合・共生という、生き方・暮らし方全般を対象とする価値観であり、美意識です。自然や生きものなどを思いやり、支え合い、つながっているという自然の摂理を尊重するライフスタイルです。

## ● 名古屋2大庭園「白鳥庭園VS徳川園」はちみつ対決!

ミツバチを養蜂し、都市の生態系の再生・向上を目指すと同時に、地域活性化に活かそうと、名古屋学院大学(熱田区)と愛知商業高校(東区)は、共に屋上で都市養蜂を行っています。主な蜜源が、白鳥庭園と、徳川園であることから、どちらの庭園のはちみつがおいしいかを来場者が試食、投票。接戦の末、白鳥庭園(名古屋学院大学)のはちみつが勝利!蜂蜜のおいしさにもプレゼンテーションにも工夫が加えられ切磋琢磨する両者の活動は年々成長しています。



来場者参加型の採蜜作業のステージは毎年人気です。試食をした来場者からは、おいしいの声が飛び交いました。



白鳥庭園は、安心安全なおいしい蜜を蜂が集められるよう、無農薬での庭園管理に挑戦しています。

## ● 日本舞踊西川流四世家元 西川千雅のエシカル・エクササイズ

家元が教える!自分の中に潜む和のうごき!!

名古屋が誇る伝統芸能、日本舞踊の西川流四世家元・西川千雅氏による、エクササイズ。日本舞踊の所作、動きは老化防止になる。口を動かすことも老化防止に役立つ。人が集う場所に出て、お喋りをするの大切さを語る。はじめは恥ずかしそうに動きを真似ていた来場者ですが、最後には会場が一体となって踊りました。しっとりとした美しい音楽と、背筋がスッと伸びる日本舞踊の所作で、心も体も清々しくなる時間でした。



西川千雅氏

あいち戦国姫隊の姫たちも演舞でエシカルを応援!

## ● フェアトレード&エシカル・ファッションショー ethical penelope

毎年人気のファッションショー!樹木に囲まれた自然いっぱいの池の上のステージが神秘的!秋の強い陽光が傾いて、心地いい風がそよ始めたらショーのスタート。アコーディオンとギターの音色が衣装に合わせて変化しシーンを彩る、ファッションと音楽の美しいステージです。自然環境に負担をかけないオーガニック素材やリサイクル素材を使用し、地域の伝統・技術を継承しながら、魅力的なデザインと確かな品質でクリエイトされるフェアトレード&エシカル・ファッションをエシカルなごや推進委員会代表の原田さとみが解説しました。



## ● エシカル市民茶会

庭園内の清羽亭は、自然素材を生かした数寄屋建築。日々の手入れが伝統建築を美しく継承し、おもてなしの心を尽くした癒しの和空間。こちらでのお茶席は一席500円。元々茶道の心は思いやりのエシカルの理念。今回の席で行われたのは、二人向かい合って同時に茶を点てる和敬点(わけいだて)。ひとつひとつの所作を、二人タイミングを合わせて行うのはなかなか難しいこと。茶道の中にエシカル(思いやり)と通ずる精神があることを、身近に感じるお茶席でした。



自分勝手な振る舞いをたち、相手を思いやることでいつしか自我を取り払い、ふたりの点前が「一つの心」となって現れるのだと、亭主の綾小路五山先生は仰いました。

## ● エシカル・マルシェ

～お買い物で世界を変えよう!!～

人・環境・社会に優しく美しいエシカルなお店が出店。服・アクセサリ・雑貨・コーヒー・紅茶・手作りお菓子・ハチミツ・野菜・食品・お弁当など、伝統・手づくり・自然農法・地産地消の温もりあふれる品々を販売しました。



エシカル・デー2017「白鳥庭園の名古屋まつり“エシカルでいしましょ!”」名古屋まつりの日に開催

日時:2017年10月22日(日)(予定) 会場:白鳥庭園 主催:エシカルなごや推進委員会 協力:NPO法人フェアトレード名古屋ネットワーク

# フェアトレードタウン名古屋 その他の活動報告

名古屋市とNPO法人フェアトレード名古屋ネットワークとの取り組み

リーフレット  
「フェアトレードタウン名古屋 誕生」  
を名古屋市が発行



2016  
5月

## 名古屋市内すべての小学校給食で、ニカラグア共和国のフェアトレード認証白ごまを使った「ちりめんじゃこのつくだ煮」が提供されました。

児童は、フェアトレードによって途上国の生産者の収入が安定し、現地の子どもたちが学校に通えるようになることなどを学びました。また、献立表を通じて、児童の家庭へもフェアトレードが伝わりました。また、FTNNが市内のスーパーにも働きかけ、店頭に並ぶようにもなりました。



2016  
5月

## 名古屋高校生国際ボランティア団体「どえりやあwings」による「カンボジアとフェアトレード」を開催。



アンコールワット展開催中の名古屋市博物館にて開催。高校を休学して世界の途上国を旅してきた吉野裕斗くん。18歳が見た世界の真実が生き生きと語られ、同世代から大人達までもが魅了されました。

2016  
5月

## 南陽高校Nanyo Company部、戸田川緑地公園での「児童虐待防止キャンペーン」に出店。



フェアトレードやカーボン・オフセットを活用し、地域貢献を行っているNanyo Company部が、オリジナル・フェアトレード商品の販売と、ワークショップを行い、親子の皆さんにフェアトレードを知っていただくきっかけを作りました。

2016  
5月

## 「ヒルズウォーク徳重フェアトレードフェスティバル」(ユニー(株)共催)にて開催。

ステージでは学生たちがフェアトレードをクイズ形式でわかりやすく伝えるなど、子どもから大人まで幅広い世代の方々に知っていただくイベントとなり、毎年恒例となっています。

2016  
5月

## 愛知商業高校ユネスコクラブによる「学んで目指そうキッズミスター！」を名古屋市科学館にて開催。



愛知商業高校の校舎屋上で飼育されているミツバチの生態観察や、米麴を使った実験などの体験型学習により、子ども達にフェアトレードについて理解を深めていただきました。

2016  
6月

## 名古屋栄三越にて「世界と日本のフェアトレード展～やさしくありたい私のために～」を開催。

150坪の会場に、フェアトレード&エシカルな品々が大集結。ファッション・雑貨・食品から、フェアトレード認証砂糖を使った新スイーツ、地域内フェアトレードの日替わりランチ、フェアトレードで現地とつながる企業や団体との日替わりトークなど。名古屋ならではの「地球とのフェアトレード」をテーマにした買い物により、わかりやすくフェアトレードを伝えました。



フェアトレードタウン運動によって、途上国を貧困や環境破壊から守るのはもちろん、遠い異国の地に思いを馳せることで、同時に見えてくるのは、私たちの足元。国内でも立場が弱く、困っている方々に対しても、お仕事が創出され、国内や地域内でのフェアなトレードを推進し、交流の促進や、街のにぎわい創出につながります。地産地消・地域活性化も理念は同じ。私たちは『地球とのフェアトレード』をテーマに、地域と世界を、そして今と未来をつなぎたいとの思いで活動を続けます。

### 「NPO法人フェアトレード名古屋ネットワーク(略称FTNN)」とは

中部地区でフェアトレードタウン運動を行う4つの団体が呼びかけ、市民・学校・企業・行政などとネットワークし2013年1月に結成。フェアトレードの理解を広げ深めるためのイベント・セミナーや、大学・学校・地域などへの出張授業を行い、フェアトレード商品取扱店を増やし、企業への参加を呼びかけ、関わる人や分野を広げ、名古屋市のフェアトレードタウン認定を達成。その後、団体の基盤強化と継続的な運営を目指し2016年7月にNPO法人格を取得。フェアトレード商品の取扱店舗を紹介するマップ製作、「フェアトレードラベルのないFT製品の認定基準策定プロジェクト」など、新しい挑戦が始まっている。

### 「惣 sou (FTNN発行フェアトレード・フリーペーパー)」編集部



白木舞美

フェアトレードは、素敵なヒト・素敵なモノとの出会いの場に、私を導いてくれます。今回は更に、素敵な場所との出会いが待っていました。愛知県在住にも関わらず、白鳥庭園という素晴らしい場所を今まで知らなかった私は、この取材で初めて訪れ、その美しさに感動しました。地元の魅力にも気づかせてくれるフェアトレード、今後も活動を通じていろいろなことをたくさん知り、たくさん学びたいです。



早川香南

3年前、大学2年生の時に初めてフェアトレードを知りました。フェアトレードに関するイベントでの出会いから、世界は繋がっていることを感じ、私の人生は大きく変わったように思います。今年度から「惣sou」の編集に携わることができ、とても嬉しいです。取材を通して、イベントひとつとっても多くの人々が関わり、様々な思いが込められていることを知りました。世界の平和に繋がり、笑顔が増える。小さな変化のきっかけとなる情報発信をしていきたいです。